



関西大学

KANSAI UNIVERSITY

Kandai Vision 150 の下 「学の実化」を推し進め、SDGs達成に貢献



長期ビジョン

「Kandai Vision 150」の
SDGsに関する行動指針
「考動力」と「革新力」を
兼ね備えた人材を育成

関西大学は、1922年の
大学令による大学昇格以来、「学
の実化」(学理と実際との調和)
を大学の理念としてきた。学問
と現実社会の調和を意味する
この言葉は、関西大学が伝統
的に教育・研究・社会貢献を
三位一体として考えてきたこと
を示しており、2016年の創
立130周年を機に作成された
長期ビジョン「Kandai Vision
150」においても、全体の将来
像の中に「多様な文化とその
価値観を尊重し、柔軟かつ幅広
い視野で物事を捉え、『考動力
』と『革新力』をもって、新たな
世界を切り拓こうとする、強い
意思を有する人材を数多く輩出
することで広く社会に寄与した
い」というメッセージが込めら
れている。

大学の構成員一人ひとりが
一層SDGsに意識を向け、理
解を深めるため、2019年11
月に策定した「SDGsに関す

る関西大学の行動指針」では、
このメッセージを受け継いで次
の通り宣言した。

「関西大学は、人間、地球、豊
かさのことを考え、国際社会の
協働的パートナーシップの下、自
由で平和な世界を実現できる
『考動力』と『革新力』を兼ね備
えた人材を育成し、SDGsに
資する研究や社会貢献を展開し
ていきます」

このように、SDGsの行動
指針には、関西大学の理念であ
る「学の実化」と「Kandai Vision
150」の理念を継承しつつ、大学
としての責務を果たすための決
意が込められている。

学園全体による SDGs推進

現在、プロジェクトの下に設
置されたワーキンググループ
では、同プロジェクト発足以前
の関西大学におけるサステイナ
ビリティに関する取り組みや
環境教育の経緯を受け継ぎつ
つ、特定の学部や部局にとどま
らず、学部・研究科や教育推
進部、研究推進部、社会連携部、
国際部のほか、さまざまな部

局における全学的な取り組みの
促進を図っている。

法人の下に設置されている環
境保全委員会と学長の下に設
置されている同プロジェクトと
の連携による取り組みも進んで
おり、各事務部署に配置してい

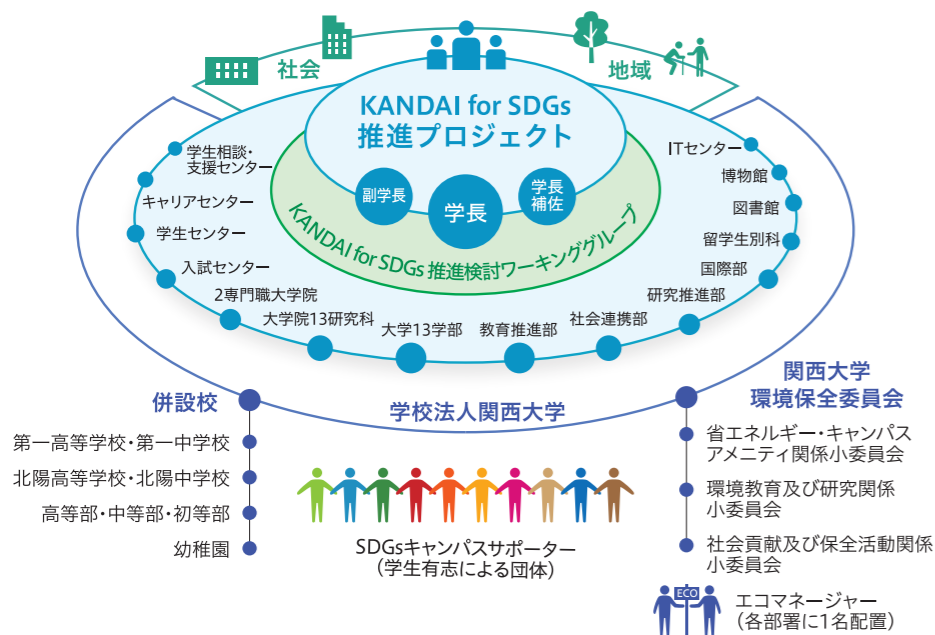
学長の下に設置したプロジェクト
による全学的なSDGsの推進

関西大学は、2015年9月
に第70回国連総会において採択
された「持続可能な開発のため
のアジェンダ2030」に記載
されているSDGsの理念に共
感し、学長が2018年12月に
声明を発表。KANDAI for SDGs
推進プロジェクト(以下、プロ
ジェクト)を発足させた。現在、
プロジェクトの下に設置された
ワーキンググループにおいて、
担当副学長を座長に、具体的
な取り組み案の策定や実施支
援、事例の情報発信などを行っ
ている。

関西大学では、プロジェクト
発足以前からサステイナビリ
ティに関する取り組みを続けて
きた。2007年には、環境問
題に対して積極的な取り組み
を推進していくために、学校
法人として「関西大学環境憲
章」および「関西大学環境方
針」を定めた。この宣言に基づき、
関西大学は「地球温暖化防止」、
「環境保全活動の啓蒙」、「環境
安全問題」、その他の「環境保全」
に取り組んでいる。

るエコ・マネージャーを対象と
した研修会の開催、学内の余
剰事務物品を有効活用するた
めの消耗品フリーマーケット、
大阪プラごみゼロ宣言に伴う
プラスチックゴミ削減施策等を
実施している。

KANDAI for SDGs 推進プロジェクトの体制図



University Information

関西大学 KANSAI UNIVERSITY
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 URL: http://www.kansai-u.ac.jp/index.html/

KANDAI for SDGs 推進プロジェクトの取り組み事例

研究支援・社会連携部

▶ SDGs研究の振興

学内研究費「関西大学教育研究高度化促進費」に係る課題の1つとして、SDGs達成のための取り組みをテーマに掲げて学内公募を行っている。

▶ 研究・技術シーズのSDGsとの関連付け

教育・研究活動を通じて得られた成果や保有する知的財産を、広く社会の課題解決や活性化に生かすために作成している「研究・技術シーズ集」について、テーマごとに関連するSDGsのロゴを明記し、企業、地域社会とのマッチングを促進している。



SDGsキャンパスサポーター

▶ 学生による取り組み

大学におけるSDGs推進の企画・運営に携わる学生の団体で、主体的に企画・立案するなど全学的な啓発活動に教職員と共に取り組んでいる。ほかにも、ボランティアセンターや国際部においてSDGsを意識した各種取り組みが行われている。



環境保全委員会

▶ 環境保全への取り組み

学園全体で自然エネルギーによる発電システム、ガスコージェネレーションシステム、地下水・雨水の利用、断熱ガラスやLED化などの環境保全活動を実施している。130周年事業の一環として2016年に竣工した千里山キャンパスの通学路「新アクセス・エリア」は、緑化意欲の向上や緑化技術の普及促進に貢献したとして、2018年に第11回「おおさか優良緑化賞」を受賞した。学校法人として、広く社会に還元される「ソーシャル・リターン(社会収益)」の向上を追求し、2018年度から、用途を環境に配慮した事業に限定して発行されるグリーンボンドへの投資も実施している。



教育推進部

▶ SDGs教育の推進

PBL型のワークショップ形式で教員・職員・学生が共にSDGsを学ぶSD研修プログラムを行い、最終発表会では3者共同でアクションプランを発表した。さらに、2020年度には全13学部の教員による「SDGs入門」や、関西大学と企業・自治体との連携による取り組み事例を通して学ぶ「SDGsの実践」を導入する。



国際部

▶ SDGs海外体験プログラムの実施

フィリピン、スペイン、スウェーデンなどでSDGs海外体験プログラムを展開している。学生の英語運用能力の向上を目指すとともに、問題解決法を自ら探すマインドを身に付け、未来に対する責任感とポジティブさを体感することができる。



図書館

▶ “KU Library thinks SDGs”の実施

学長就任当時から、「新入生に贈る100冊」(丸善雄松堂、紀伊國屋書店協力)を配布し学生への読書啓発を行ってきた。2019年度には図書館とKandai for SDGs推進プロジェクトが連携し、図書館の特性を生かしたさまざまな取り組みを展開した。企画展では、教員推薦図書をSDGsのゴールごとに展示。さらに、紀伊國屋書店の協力による各店舗での巡回展示や、図書館総合展でのSDGsに特化したブースの設置でも多くの関心を集めた。



SDGsの取り組み体制を着実に整え、
学内啓発および学外連携を一層推進する



関西大学高等部にてSDGsフォーラムを実施



事務職員を対象にカードゲームで学ぶSDGs研修会を実施

さらに、併設校の関西大学高等部では、探究学習の一環としてSDGsフォーラムを実施し、多くの企業・団体と共に、生徒たちがSDGsを考えるワークショップを行うなど、その裾野は広がりつつあり、学園全体として推進に取り組んでいる。

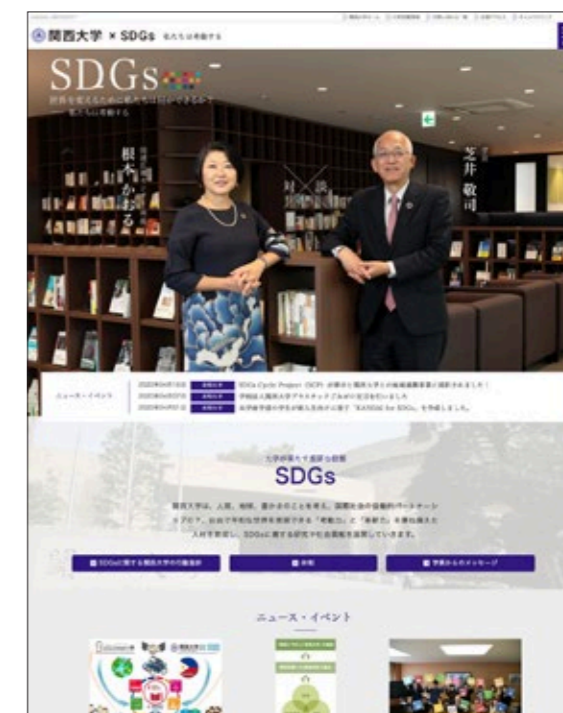
今後の取り組みについて
2020年にはSDGsウェブサイトの全面リニューアルを行った。リニューアル後のウェブサイトでSDGsのゴールなどから関西大学の取り組みを検索できるようにすることで、学部・研究科や各部署の取り組み事例や情報を発信するとともに、ひいては大学全体の研究や教育の広報にもつなげている。

また、2019年11月に策定されたSDGs行動指針に基づき、SDGsに関するさまざまな取り組みを一層推進するため、関西大学においてすでに行っている教育・研究活動をSDGsの視点により捉え直すべく、学部・研究科、教育推進部において展開している授業科目や所属教員の研究、事務組織の各部署における目標に関して、関連ゴールの明示を進めている。

そのほかにも2020年度には、学内教職員・学生のSDGs

への理解を深め、各種取り組みを加速させるための制度の充実、国内の大学間連携による取り組みの実施、企業や自治体と共に学園全体で行う取り組みの実施なども予定している。

さらに、2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)はSDGs万博ともいわれ、その中心には明確にSDGs達成への貢献が掲げられている。この開催地となる大阪で生まれ共に歩んできた大学として、関西大学は学理と実際との調和を理念に社会課題の解決に取り組んできた大学として何ができるのか、さまざまな可能性を検討している。



ウェブサイト「関西大学×SDGs 私たちは考動する」

